

## 平成 30 年度 穂木採り会報告

事務局 小泉不二男

6月24日(日)、今年度の穂木採り会が行われました。場所は美浦村の小泉椿畑で、平成28年から始めて今回で3年目になります。参加は10名でした。

5月の幹事会のおり、椿畑をきれいにして穂木採りをしようとの提案があり、鎌や刈払い機を持参しての穂木採り会になりました。



伸びてきた篠竹を切る



安全第一で足元に注意



椿の木の根元は鎌で草刈り



作業者から5m以上離れること



梅雨の晴れ間の暑さ。休み休み。



キュウイ棚の下もきれいに。



栗の木の緑陰で休憩



話題はやはり椿、ツバキ



肥後椿が所望。幸楽の枝。



充実した挿し補用枝は樹冠にある。

6月に入ってじとじとした梅雨がつづき、この日も午前中は雨。運よく午後には晴れて、予定どおりの穂木採り会になりました。

刈払い機を使つての作業で心配もしましたが、皆さん夏のこの時期は、草刈りをする事も多いとのことで手慣れたもの。お陰様で椿畑も見通しが良くなりました。

肝心の穂木ですが、今年も紫色の花「想い紅（おもいぐれない）」が人気。木が5mくらいに成長したので、たくさん挿し穂を採れました。3年後の椿展には鉢や切花で展示されることになるのではないのでしょうか。楽しみです。



想い紅



三浦乙女

三浦乙女もご所望がありました。

かつて神田のタキイで協会の夏期講習会があったころ、桐野秋豊先生が三浦乙女の穂木を持参されました。ところが、欲しいという人が少なく穂木が残ってしまい「昔は人気があったんだがねえ」と先生が嘆息されたのを思い出します。

今、三浦乙女は来年の全国椿サミット御殿場大会のテーマ花の一つとして再び注目されています。秩父宮妃殿下命名という来歴と白から薄桃色へ移っていくその色調で再び人気となりそうです。

今年は、参加された会員が採る品種も気になった穂木採り会でした。